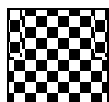


土岐市教育委員会（学校教育課）

電話 0572-54-1111

ことばの教室（土岐津小学校内）

電話 0572-54-2291



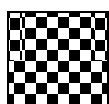
---

## 「ことばの教室」とは？

「ことばの教室」は、ことばに関する何らかの弱さやつまずきを持っている児童に対して、その改善に向けた支援を行うところです。

ことばに関する問題は様々で一人一人違います。また、そのつまずきは、読む、聞く、書く、話すことだけでなく、それにもなつて情緒面や行動面にも影響を与えます。

そこで、「ことばの教室」では、家庭や在籍学級、及び専門機関などと連携をとりながら、今の状態で生き生きと生活する中で、意欲的にその弱さやつまずきの改善に向けて取り組んでいくことができるように指導・支援しています。



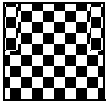
---

## 学齢期におけることばの問題は？



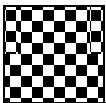
人間はことばを使って考えます。学年が上がるに従って複雑で難しくなる学習や人間関係の中で、ことばの役割はより大きくなっていきます。をつかんで行動していく社会性の発達にも影響していくことがあります。

このように学齢期のことばの問題は、コミュニケーションの問題や、学習の遅れだけでなく、人間形成にも影響を生じさせることがあります。心理的問題や集団への不適応問題に拡大していくことがあります。



## 対象となる児童は？

- 話す時、音の置き換えやひずみが見られる児童。  
「サカナ」が「タカナ」、「ロボット」が「ドボット」になったり、発音が不明瞭だったりする。
- 吃音(音の繰り返しや引き延ばしがある)のある児童。
- 名前を呼ばれても気がつかなかったり、聞き誤りや聞き返しが多かったりする児童。
- 読む、聞く、書く、話す等の基本的事項に発達の遅れが見られる児童。
  - ・ ことばの数が少ない。
  - ・ 相手にわかるように話すことができない。
  - ・ ことばの理解が遅れていて指示が通りにくい。
  - ・ ことばの意味を取り違える。
  - ・ 音は間違っていないが「テレビ」を「テビレ」と読む。
  - ・ 文末や行を読み間違える。
  - ・ 視覚的な支援があれば分かるのに、聞いただけでは理解できない。
  - ・ ことばで丁寧な説明をしないと見ただけでは理解できない。

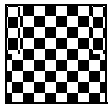


## 支援については？

- 決められた日時(個々の児童に合わせて週1~2時間)に、ことばの教室に通級し、「自立活動」として支援を行います。
  - ※ 他校の児童は、保護者の送迎が必要です。
  - ※ 通級指導のために在籍校での授業が受けられない場合がありますが、欠課にはなりません。在籍校とは別の場所で学習しているという事です。
- 個々の児童のニーズに合わせた個別指導計画を作成し、支援を行っています。
  - ※ 個別指導が基本ですが、二次的に生じた社会性・コミュニケーション・情緒面等の問題の改善のために小集団指導を行う場合があります。
  - ※ 自立活動の内容とあわせて、音読や文章の読み取り等、言語の領域に関する教科指導の補充も行います。
- ことばの問題は、その児童の全体像からの理解が必要になります。学級担任・保護者との連携を大切にして、必要ならば専門機関との連携もとりながら支援を進めています。



土岐市教育委員会（学校教育課）  
電話 0572-54-1111  
なかまの教室（土岐津小学校内）  
電話 0572-54-2291  
（駄知小学校内）  
電話 0572-59-3148

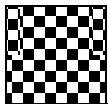


### 「なかまの教室」とは？

聞く・話す・読む・書く・計算すること等に困難を示す子、注意力の弱さや衝動的、多動的であることで学習や活動に支障をきたす子、対人関係がうまくいきにくい子は、様々な生活場面で自信をなくしたり、学校生活になじめなくなったりすることがあります。

また、人との関わりや状況をつかんで行動していくことが苦手で、社会性の発達も妨げられがちです。

「なかまの教室」は、このような子どもさんが困難さを改善し、生き生きと生活できるように指導・支援を行うところです。

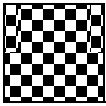


### 「なかまの教室」で行うことは？



- 1 集団の中で仲間とうまく関わることができるように、主にソーシャルスキル・トレーニングを行ないます。場面に応じた対応の仕方、人の気持ちを考えること、社会的な常識や許される範囲の行動等について学びます。個別やグループ等、課題や状況に合わせて指導を行っていきます。
- 2 心が落ち着くように、遊んだり話をしたりする場を設けます。
- 3 必要があれば、苦手な学習について指導を行います。

上記のこと等を基本にして指導を行います。家庭や在籍学級で学習や生活する際、お子さんが抱える課題は一人一人違ってきますので、指導内容は児童によって異なります。児童の発達の課題に合わせて、必要な力をつけていけるようにと考えています。



## お子さんの成長にとって大切なことは？

### 1 保護者、担任、通級担当が同じ方向で支援をしていくこと

通級で行なっていることやお子さんの様子をその都度お知らせしますので、ご家庭でも同じようにお子さんに関わっていただけるとありがたいです。また、学級の担任の先生とも密に連絡を取り合ってお子さんの特性を理解していただくことが大切です。

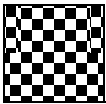
### 2 焦らず、気長に、お子さんの成長を信じて待つこと

良くなったかなと思う時と調子が悪い時があるなど、お子さんの状態にはとても波があります。また、通級を始めたからといって、急によくなるものでもありません。しかし、一進一退を繰り返しながらも少しずつ成長をしていきます。毎日接していると大きく目に見えた変化は分からぬ中、必ず成長していきますので気長に見守りましょう。



### 3 叱ることを少なく、ほめることを多く

不適応行動が目立つ場合、つい口うるさくなり叱ることが多くなりがちです。叱ってばかりいると「どうせ自分なんか…」と自己肯定感が低くなります。特に、感情的に叱ることは逆効果です。言い聞かせたいことは、落ち着いたところできちんと向き合ってお話をするようにしてください。繰り返し、粘り強く、気長に関わっていきましょう。



## 支援については？

○決められた日時(個々の児童に合わせて週1～2時間)に、なかまの教室に通級し、「自立活動」として支援を行います。

※ 他校の児童は、保護者の送迎が必要です。

※ 通級指導のために在籍校での授業が受けられない場合がありますが、欠課にはなりません。在籍学校と違う場所で学習しているという事です。

○個々の児童のニーズに合わせた個別指導計画を作成し、支援を行っています。

※ お子さんの課題や状況に合わせて、個別指導やグループ指導を行います。

※ ソーシャルスキルトレーニング等と合わせて、読み、書き、計算等の領域に関する補充も行います。

○お子さんへの支援は、お子さん全体の理解が必要となります。

学級担任・保護者との連携を大切にして、必要ならば専門機関との連携もとりながら支援を進めていきます。

